

野菜を育てることによって、
作物の成長に気付き、
食べることで命の大切さを学ぶ

杉並区立三谷小学校



活動趣旨

児童が学級園や移動教室で自然に触れながら野菜や米を栽培する中で、四季の移り変わりを実感すると共に、作物の成長に気付き生産者の苦勞を体験させる。

収穫した作物は全校あげて収穫祭として給食で味わい食べることで収穫の喜びを祝うと共に、自分達は大切な命を食べていることに気付かせる。さらに多くの人々との関わりを通じ感謝する気持ちを養う。

取り組みにあたって気を付けたこと

学級園や農芸高校の畑をお借りして、野菜等を栽培することによって、四季の移り変わりを実感させる。そして、野菜を育てることによって、自然のすばらしさ・厳しさ・育てることの大変さを体験させ、野菜等の育ちを学ばせたい。さらに、収穫したものを自宅や学校給食で味わい食べることで、命の大切さに気付かせ、感謝する気持ちを養うようにした。

収穫祭では、それぞれの学年がお世話になった方々を招待して今までの活動を報告し、その後一緒に収穫したもので作った給食を味わっていただくことにより、感謝の気持ちを表す場とした。

体験の成果

今年度は台風の影響で、忍野村での稲刈りが実施できなかった。夏の猛暑でトウモロコシの生育が早くなり、背の低いトウモロコシになったり、病害虫の影響も多々あり自然に対する影響を受けた年であった。その都度、児童と考え対処してきたが、作物を栽培することの難しさを例年になく感じた。

取り組んでみて、今後の課題や方向性

若い教師が増えてきて、教師自身が野菜を栽培したことがない場合が多く、土作り等の知識が不十分で植えられない、種をまけば芽が出てくると思っていることが多く見受けられる。JAや農家等の支援が必要である。

全校児童で栽培活動を実施しているが、学年によって温度差が感じられる。教師がもっと積極的にいかねられるようにしていくことが大切である。

成果についての報告会、発表会

1月18日に、全校あげての収穫祭を実施した。
メニューは、「三谷小カレーライス・収穫祭サラダみそトウモロコシ汁、スイートポテト・カワの漬物」です。お世話になった方々など35名を招待して会食を実施した。

- カレーライスには、1年の栽培したニンジン
2年の栽培したトマトから作ったケチャップ
5年の栽培した米
6年の栽培したジャガイモ
栄養教師が栽培したタマネギ
- 収穫祭サラダには、2年が栽培したダイコン
3年が栽培した大豆で作った味噌を使った味噌トウモロコシ汁
4年が栽培した小松菜
- スイートポテトには、2年が栽培したサツマイモ
- カワの漬物には、1年が栽培したカワが入っています。



子どもたち

参加者の感想

- カワの種が小さかったのに、大きなカワになりました。「うんとこしょ、どっこいしよ」と言って抜きました。おもしろかったです。
- 2年生は、ダイコンチームとカワチーム、小松菜チームに分かれて種をまきました。一緒に種をまいたのに、小松菜チームが一番早く収穫出来てすらいと思いました。でもダイコンチームもその後とれてよかったです。

先生方

- 教科書では伝わらなかつた農業に対して、実際に体験することで生産者の苦勞や思いを経験することができました。1粒の種から野菜に育つまでを体験し、本物にふれることができ、今後の人生においても貴重な体験だと思いました。
- 野菜の栽培体験は、自然が相手です。虫を落とす作業や水やりの作業を通して、子供たちは農家の苦勞が分かりました。給食の食べ残りもぐっと減りました。栽培活動の素晴らしさを実感できました。

活動内容

- 4月 ジャガイモの植え付け (6年生)
- 5月 ミント・トマト・サツマイモ・トウモロコシを畑に植え付け、ピーマン・ナス・オクラ・ミニトマトを個人の植木鉢に植え付け (2年生)
- 大豆の種まき (3年生)
- 6月 千葉県忍野村での田植え (5年生)
- ニンシンの種まき (1年生)
- 7月 ジャガイモ収穫 (6年生)
- ミニトマト、トウモロコシの収穫 (2年生)
- 8月 ミント・トマトを使ってのケチャップ作り (2年生)
- 大豆を使っておみそ作り (3年生)
- 9月 ダイコンの種まき (2年生)
- カワの種まき (1年生)
- 10月 小松菜の種まき (4年生)
- 好きな野菜を育てよう(カワ・小松菜・ダイコン) (2年生)
- 11月 ニンジン・サツマイモの収穫 (2年生)
- 12月 ダイコンの収穫 (2年生)
- 1月 カワの収穫 (1年生)
- 三谷小収穫祭 (全校)
- サラダパーティーを楽しむ (2年生)



データ

- 実施団体 杉並区立三谷小学校
- 実施内容 野菜栽培、収穫祭
- 実施期間 平成30年4月～平成31年1月
- 参加対象人数 全校児童
- 児童 535人 職員 45人 来賓 37人
- 合計 617人
- 連携組織 協力組織 都立農芸高校 JA東京中央グリーンセンター